

沖縄会



会長:賀数 紀之

Noriyuki Kakazu

会員・準会員数:98名

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の増減に経済だけでなく、個々人の生活そのものが影響を受けるような状況が続いています。そのような社会状況の中で、我々公認会計士も環境の変化に合わせて、柔軟に対応する必要があることをひしひしと感じております。

公認会計士の独占業務として、独立した立場において監査証明を行う監査業務があります。上場企業等の財務諸表の適正性について意見を出すものですが、その対象は学校法人、地方公共団体、医療法人、社会福祉法人、農業協同組合等へと広がってきました。これらの監査業務は、監査対象の経営健全化に資するとともに、間接的ではありますが地域活性化の一助となっているものと思われます。また、監査以外の領域(税務・コンサルティング・組織内会計士・社外役員等)においても、公認会計士が地域社会に貢献できる場は大きく広がってきております。

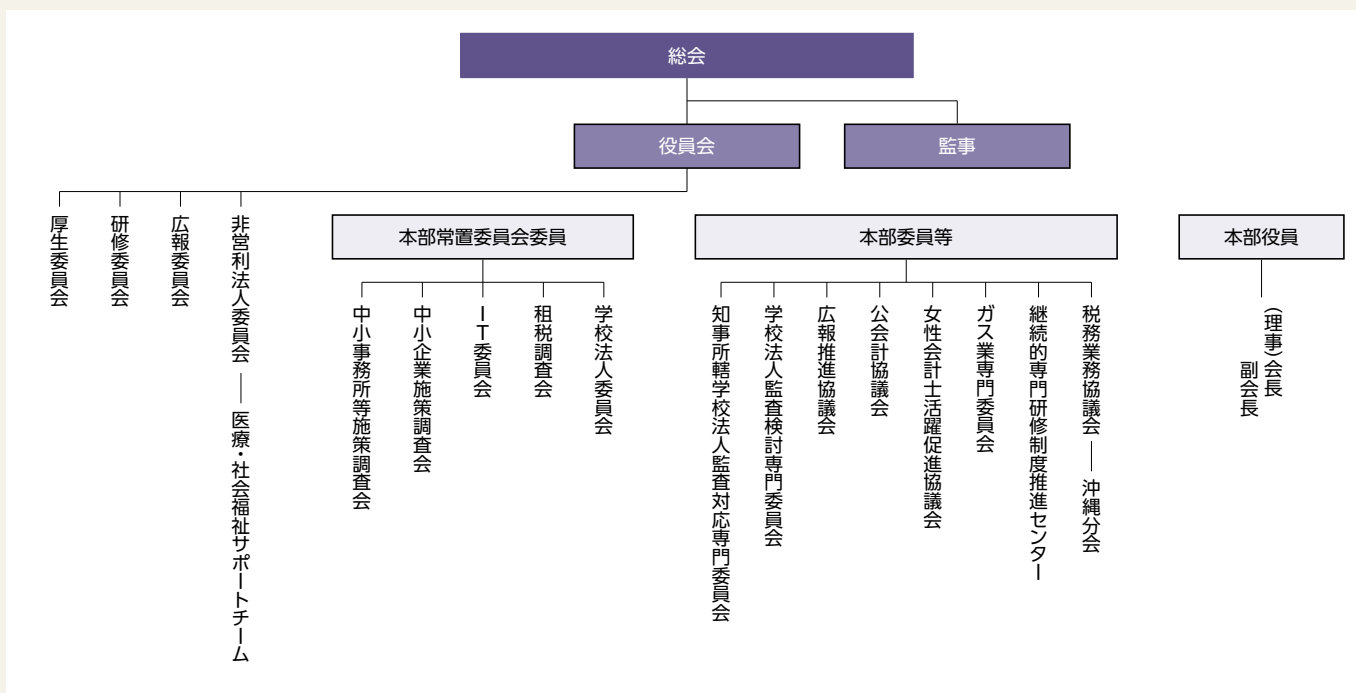
沖縄会はまだまだ小さな地域会ですが、若い世代(20代から40代までの割合69%)、女性(女性の割合14%)も継続して増えております。今後とも関係各位のご協力を得ながら、公認会計士が様々な業務に積極的に関わることによって、社会価値の創造及び持続可能な社会の構築に貢献できるよう努めてまいります。今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会員・準会員数の推移 (各年3月末時点)

(名)

年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
沖縄会	56	59	61	64	66	74	74	75	80	93	98

沖縄会組織図 (2021年3月末時点)



役員一覧 (2021年3月末時点)

会長	賀数 紀之		
副会長	古荘 貴朗		
幹事	友利 健太	玉元 宏志	
監事	安里 和恭		

沖縄会 2020年度の主な活動

1 「公認会計士制度説明会」

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、人数制限やウェブ(録画)により琉球大学(対面参加者7名)、沖縄大学(ウェブ参加予定者100名)で開催しました。沖縄会の会員が講師となり協会本部広報委員会作成の「公認会計士の仕事と魅力」を活用し、講師自身の会計士を目指すに至った経緯や監査法人での経験、そして事業会社での業務内容等を踏まえて、公認会計士の使命、仕事内容、今後の活躍できるフィールド等について説明しました。

受講者には簿記・会計の勉強をしていない学生もいることを想定し、会計の難しい言葉や表現をできるだけ避けるように心がけました。

沖縄大学ではZoomの録画機能を利用して講義を撮影しました。対面形式であれば質疑応答により学生の興味を惹きつけることができたかもしれませんが、撮影では反応が分からないので手探りの対応となりました。一方で今後は、このようなウェブを利用した開催を前提として、より分かりやすく、飽きないような資料や講義の構成が必要と感じました。

次年度以降は、今年度は開催自粛した「ハロー!会計」(私立中学校で開催)、「職業紹介」(私立高校で開催)のほか、沖縄の学生や子どもたちに公認会計士の存在と役割に興味を持ってもらうとともに、「会計基礎教育」の推進に積極的に寄与するため、公立高校・公立中学校での対面・リモート開催も検討していく予定です。



2021年1月 琉球大学で開催した「制度説明会」

2 沖縄会事務局が移転

沖縄会事務局が入居していた那覇商工会議所ビル(那覇市久米)の建替え工事に伴い、那覇空港に近い沖縄産業支援センター(那覇市小禄)へ2021年3月4日に移転しました。

以下は、沖縄会として例年開催・参加しているイベントを紹介します。(2020年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催自粛)

3 「公認会計士の日」記念講演会の開催

2003年(平成15年)の第1回から2019年(令和元年)まで毎年開催しています。講師は沖縄会会員をはじめとした公認会計士のほか、内閣府沖縄総合事務局長、日本銀行那覇支店長、県内企業経営者、大学教授、事業承継等様々な分野の第一線でご活躍されている方等多岐にわたり、毎年200名前後のご参加を得て盛況な講演会となっています。



2019年7月開催 内閣府沖縄総合事務局長の吉住啓作氏の講演会

4 沖縄士業ネットワーク協議会主催「くらしと事業のよろず相談会」への参加

県内の士業団体(10団体)が参加し、2012年(平成24年)の第1回から2019年まで毎年、無料相談会を開催しています。



2019年11月開催「よろず相談会」